

会 議 録

1 会議名

令和4年度第2回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

- ・地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について
(公開)

○協議事項

- ・令和4年度地域活動支援事業について（公開）
- ・地域の課題について（公開）

3 開催日時

令和4年5月11日（水）午後6時00分から午後7時30分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 市民活動室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、
植木節子、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健、
秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊（1人欠席）
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、米川次長（総務・地域振興グループ長
兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、大堀建設グループ長、市村市
民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、小池地域振興班長、
橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【米川次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告
- ・会議録の確認を秋山委員に依頼

4 協議 報告事項「地域自治推進プロジェクトおよび令和4年度の地域協議会の取組等について」、事務局に説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1～6について説明

自主的審議については、板倉区地域協議会においては3つのテーマがあり、また4月に各連協及び地域活動支援事業を活用した団体へアンケート調査を行った。また6月以降に各地区で意見交換を行いたいと考えている。そういった取組の中で、元気事業の提案や、意見書につなげていければよいと考えている。

各地区での意見交換会の開催については、これから連協と調整に入るので、開催は6月下旬から7月上旬と考えている。次回以降の会議でスケジュール案等をお示しできればと考えている。

また、地域活性化の方向性の作成については、昨年度板倉まちづくり振興会で板倉をイメージしたゆるキャラの作成があったことから、そうした取組とも連携し、地域の声を聞きながら作っていければよいと事務局では考えている。

【平井会長】

事務局の説明に対し、質問、意見を求める。

【田中委員】

事前に資料をいただいたが、読んでもさっぱり理解ができなくて、これで果たして進んでいくのか疑問を持っていた。板倉区地域協議会は今年度の地域活動支援事業の審査は地域協議会で行うと決めたので、そこをぶり返すつもりはないが、地域活動支援事業の審査と並行した中で、説明のあった新しい取組を9月ごろを目標に

進めることが、実際のところ可能と事務局は判断しているのか。

それと、他の委員の皆さんがこれを読んで理解されているのか。私は半分も理解できないので、どうやって動いていくのか全然イメージが湧かないが、他の委員にも意見を聞いてほしい。

【平井会長】

意見のある委員の挙手を求める。

【小林委員】

新たな恰好で地域活性化を図ろうとすることはいいと思うが、私も今の説明で完全に読み取れるわけではない。板倉区を考えたときに、全体のまちづくりのビジョンを決めて、板倉まちづくり振興会や各種団体と意思疎通を図りながら進めた方がいいと考えるが、共通課題に対する認識が、相当ハードルが高いのではないかと思う。各団体との話し合いの中で、これを具体的に進めるとしたら、もう少し時間が必要ではないかと考えるが、その辺のスケジュールについてはどのように考えているか。それとも、一堂に会して趣旨説明をして、理解を得るという方向で考えているか。

【小池地域振興班長】

今ほどの意見でビジョンという言葉があったが、今回地域協議会に作成をお願いするのは、ビジョンという大がかりなものではなく、地域活性化の方向性ということで、資料にも例として基本形が書いてあるが、板倉区はこういった特色があるので活かしていきたくというようなものである。また、この方向性というものは、9月までに作るというのではなく、今年度中に取り掛かっていただくものということで、そこまで急ぐものではない。

元気事業については、来年度予算に間に合わせるように提案するのであれば、9月ごろを目途に作成しなければならない。頸城区の資料もある。これは今取り組んでいただいている3つのテーマ、また後ほど説明する地域の課題など、これが全部ではないが、整理しながら、6月下旬から各地区に出向いて話し合わなければならない。元気事業をやるのであれば、それまでに素案を作って示せばよいと事務局では考えている。

次回の会議は地域活動支援事業のヒアリングだけで時間がいっぱいになってし

まう。6月に入ったら連協との意見交換会の進め方や、この元気事業をどういうテーマで進めていくかなど、スケジュール的なものを事務所内で話し合ってお示しできればと思っている。そのため6月は会議を2回行いたいと思っている。7月上旬に意見交換会を開催し、8月、9月と忙しくなってしまうと思うが、各区同じ条件で進んでいるので、何とか板倉区の事務局としては、委員の皆さんの意向にもよるが、元気事業の提案をするのであれば間に合わせたいと考えている。

【平井会長】

他に意見はあるか。

【庄山委員】

元気事業、自主的審議事項もそうだが、今まで具体的に俎上に上がってきていないものを9月までに仕上げるのはやめた方がいいと思っている。それよりも、地域活性化の方向性についての話を進めていった方が私にはいいのではないかと思う。資料6に書いてあるが、いずれにしてもビジョンのようなものを作らないと前に進んでいけないという気がしている。何かしらビジョンのようなものを作って、それに沿った活動が地域予算に上がっていくと思うので、そちらの方を優先していった方がいいと思っている。

【平井会長】

他に意見はあるか。

【小林委員】

昨日、第7次総合計画策定の意見交換会に参加させてもらった。参加人数も少なかったが、グループトークの目的意識がよく分からなかった。議論のポイントがなかなかよく分からないまま終わってしまった。我々に何を求めて、上越市がどういうあるべき姿を描いているかというのが全然見えなかった。強み、弱みという話をしていたが、きちんと議論をするテーマをとらえてから進めた方がいいと思う。そこまで拙速にやる必要はないと考えている。

【小池地域振興班長】

小林委員のご意見は、地域活性化の方向性はそこまで急がず、しっかりと話し合いをして進めていくというべきということかと思う。今の地域協議会委員は任期3年目だが、今まで委員同士で膝を突き合わせて板倉区の特色についてフリートーク

というものも無かったのではないか。地域活性化の方向性の作成には、そういったフリートークを何回か重ねながら作っていけばいいと思っている。

今回、地域課題のアンケートを行った中で、板倉まちづくり振興会の方からも地域課題というものが上がってきていて、資料8にも記載したが、板倉区がどういう方向に進んで行けばいいのか、ビジョンが必要だというような意見があった。振興会も悩みながら進んでいるのかなと私も感じた。どうやって地域活性化の方向性の作成を進めていくか。そのやり方も各区に任されているので、事務局と会長、副会長で話し合いを行い、皆さんにも進め方について意見を聞きたいと思っている。地域協議会の委員だけで作成するのではなく、地域の皆さんの声を入れながら作ればよいと思っている。

【古澤総合事務所長】

今ほどの地域活性化の方向性の話だが、担当が説明させていただいたが、今の段階で各地区から出てきた課題が相当ある。そういうものを元に地域に入って、地域の皆さんと話をしながら、また意見をお聞きするというところから始めたい。また各種団体と皆さんとの意見交換をしながら、板倉区全体として地域の活性化に繋げていけるような取り組みを、これを機に始めていければと思っている。

【長藤委員】

各地区へ行ってただ単に意見を出してくださいと言っても、意見が出てくるとはなかなか考えにくい。私としては、資料2を各団体に提示していくことによって、各団体から出てくる意見もそういった方向性を持った意見になると思うので、できればそういった進め方をしたらどうかと考えるがいかがか。

【古澤総合事務所長】

今、色々な意見が出ているので、ある程度まとめた中で進めていきたいと思っているので、今頂いたご意見も参考にしながら対応していきたいと思う。

【平井会長】

他に意見はあるか。

【庄山委員】

地域に入って元気事業の話などをするのは私はいいいことだと思う。ただ、その前にこちらとしてもどういう組織体制で行うのかということも決めておかないと話に

ならない。こういう組織を考えているので、こういう風にしていきたいと、具体的にしていっての方がいいと考えている。地域協議会委員だけで案を作っても、活性化に向かって取り組むといっても、誰も聞いてくれないと思う。やはり、地域の団体と連携、組織的にやらないといけないと思っている。

【平井会長】

他に意見はあるか。非常に今回の提案は奥が深い、幅の広い内容だと思う。それで、なかなか理解しにくいということだが、これで意見は出尽くしたか。

(意見なし)

それでは、板倉区地域協議会としては、現在各部会で取組んでいる3つのテーマの課題解決に取り組ながら、地域から上がってきた課題についても整理し、取り組むべきテーマがあれば取り組んでいきたいと思う。

また「地域活性化の方向性の作成」については、作成期限は決まっていないことから、地域活動支援事業の審査が終わってから、どのように作成していくか協議する。

「地域自治推進プロジェクトおよび令和4年度の地域協議会の取組等については以上とする。

私の方から事務方にお願ひする。今の話はなかなか理解できないし、そういうような状況で今後どうしたらいいかという状況であるわけだが、これは上越市28区皆同じ考えだと思う。地域性があるため若干違いはあるが、基本的には皆同じわけなので、他の区がどんな感じで進めて行くのかそれを掴んでいただきたい。それをもって我々も今後の糧としたいのでよろしくお願ひする。

続いて、5「協議事項」に移る。「令和4年度地域活動支援事業について」事務局からの説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料7に基づき説明

本日お配りした質問票について、各団体に質問のある方は、5月16日(月)午後5時までに、事務局へ持参または、メール、ファックスで提出して欲しい。

現地確認をヒアリングの前に行きたい。予定通り3時に総合事務所を出発し現地を見ていただく。参加をお願ひする。

【平井会長】

質問、意見を求める。

【長藤委員】

質問票について、基本的には各団体への質問になると考えているが、そうではなく、既存のものはどうなっているのかという確認の質問でもよいか。申請団体への質問ではなく、板倉区内で今までどうだったか、そういうような質問でもよいか。

もう一つは、現地確認行程の中で、栗沢桜の里なのだが、路肩に車を停車し歩いていくと思うが、砂防工事が始まっていて、公園の中にも作業小屋や休憩小屋が建てられていたり、そこから栗沢桜の里まで入っていくところに、工事車両が1日何台も通っているの、その邪魔にならないように考えてもらいたい。そこだけ気を付けてほしい。

【小池地域振興班長】

板倉区内で、例えば中村十作の絵本が今まであるかどうかという質問であれば、提案団体に聞いても分からないと思うので、事務局で調べることができれば、調べておきたいと考えているので、書いていただければと思う。

【田中委員】

以前、委員研修でやすらぎ荘で昼食休憩を取ったことがあった。やすらぎ荘の経営を助ける意味でも、事務局を含めて20人くらいでやすらぎ荘で昼食をとって、光ヶ原高原まで行くような行程に変更は可能か。

【古澤総合事務所長】

日程については、委員の皆さんの都合を確認させていただき変更することはできる。光ヶ原高原へ行く県道についてはおそらく除雪は終わっている予定だが、キャンプ場までは雪の状態に入れるかどうかは分からない。行程については皆さんで決めていただきたい。

【平井会長】

他にないか。

(意見なし)

私から1つ確認させていただく。地域活動支援事業の補助金の予算が、板倉区は以前は640万円となっていたが、今回は630万円となっている。これは人口が

減ったから10万円少なくなったということでよいか。

【小池地域振興班長】

そのとおりである。人口が減ったため10万円減額となった。予算は均等割で各区450万円は必ずあるが、残りは人口割となっている。

【平井会長】

他にないか。

(意見なし)

それでは、団体に対して質問のある方は5月16日までに事務局へ提出して欲しい。

【小池地域振興班長】

現地見学の行程について決めていただきたい。

【平井会長】

現地見学の行程について他に意見はあるか。

【植木委員】

昼食をとるとなると、1日仕事を休むことになる。コロナも流行っているので、皆で昼食をとることはせず、提案どおり午後3時からとしたらどうか。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

では、現地見学は提案どおりの日程とする。

令和4年度地域活動支援事業については以上とする。

次に、「地域の課題について」事務局から説明を求める。

【小池地域振興班長】

・資料8により説明。

【平井会長】

質問、意見を求める。

(質問、意見なし)

地域の課題については、次回以降に内容を確認し、取り組むべきテーマについて審議していきたい。

次に6「その他」に移ります。地域振興部会から報告をお願いする。

【長藤委員】

5月9日に開催した、いたくら夢創會との意見交換会について報告する。団体の方からは事業報告や提案などしていただき、雑談形式で意見交換を行った。いろいろな意見が出たが、今後も意見交換を続けようということになった。

【平井会長】

他に事務局から何かあるか。

【小池地域振興班長】

寺野地区地域おこし協力隊について報告する。

福井拓也さんという方が5月9日に着任した。任期は3年で西久々野に住み、地域の魅力発信や地域活動の取組支援等に従事する。協力隊が寺野地区だけでなく板倉区に馴染んで貰えるように、委員の皆さんからもご理解ご協力をお願いする。

【米川次長】

前回、第1回地域協議会における長藤委員からの質問に対して回答させていただいた内容について報告する。

1点目の「上越市公共交通とくらしのガイド」で時刻表の路線図が一部掲載されていないとの質問についてだが、この冊子は、3年に1回の頻度で発行している冊子である。山寺薬師・菰立線の一部の下米沢、小石原入口の路線の掲載については、作成時の確認漏れにより未掲載となっている。お詫び申し上げます。なお、70ページの時刻表については、下米沢、小石原入口停留所の時刻は掲載してある。板倉小学校開校に伴う、スクール混乗路線として今年度も運行されている。

もう一点の、旧筒方小学校漏水に伴う水道料金の考え方について、基本料金は市で、従量料金は筒方地区連絡協議会の負担となっている。漏水修繕は時間が掛かる状況となっている。前回もお話ししたが、イベント等で使用する際は、止水栓を開けて使用していただくこととなっているが、6月5日にふきんとまつりの開催があるとお聞きしている。委員から心配いただいていた筒方地区連絡協議会から支払いいただく従量料金については、これまでの支払い実績や、1日あたりの漏水量を鑑みながら、筒方地区連絡協議会と協議の上、協議会の皆様の不利益とならないよう対応させていただきたいと考えている。

【平井会長】

- ・ 次回の地域協議会の日程等について確認
- ・ 第5回の地域協議会を6月17日（金）に開催することを決定
- ・ 4区合同研修会の日程を6月24日（金）に開催することを確認
他にないか。
産業建設部会から報告をお願いする。

【田中委員】

本日、やすらぎ荘ファンクラブの話し合いにオブザーバーとして会長と参加した。
橋本市議会議員が司会で、総合事務所から古澤所長以下職員、やすらぎ荘から取締役と支配人、ファンクラブと協力会の会員数名が参加した。市の方針としては、公の施設の適正配置計画の中で、やすらぎ荘は今後3年間は地域住民の声を聞き継続して協議していくとのことであった。また、議会ポストにやすらぎ荘について意見要望が出されたということも聞いた。決算関係の数字の報告もあり、その他、様々な意見交換がなされた。やすらぎ荘は、経営が厳しいと何度も聞いている。コロナがまん延している状況ではあるが、地域協議会委員の皆さんも個別にお風呂だけでもいいので利用して支援していただきたい。

【古川副会長】

- ・ 挨拶

【米川次長】

以上で、第2回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。